

平成26年度
京都大学情報環境機構
サービスガイドブック



情報環境機構のサービス

情報環境機構は、学術情報メディアセンターの支援のもと、京都大学におけるあらゆる活動を支えるために必要な高い安全性、利便性を備えた先端的な情報環境を構築、運営することを目指しています。

このガイドブックは、情報環境機構が学内外に対して行っている情報サービスの概略をまとめています。

学生、教職員の皆さまにご利用いただける情報サービス、学内の情報セキュリティ関連、ソフトウェアライセンスの全学展開等について記載していますので、ご活用ください。

サービス案内

全学認証システムの概要				
京都大学から発行されるアカウント(ID)	学生アカウント(ECS-ID)	学生		p.2
	教職員アカウント(SPS-ID)		教職員	p.3
IC学生証、認証ICカード、施設利用証		学生	教職員	p.3
全学情報システム			教職員	p.3
認証ポータルサイト				
学生用ポータルサイト—全学生共通ポータル—		学生		p.4
教職員用ポータルサイト—教職員グループウェア(Notes/Domino)—			教職員	p.4
京都大学から付与されるメールアドレス(全学メール)				
学生用メール—KUMOI(くもい)—		学生		p.5
教職員用メール—KUMail(くまいる)—			教職員	p.5
KUMailストレージサービス			教職員	p.5
京都大学学術ネットワークシステム(KUINS)				
ネットワーク(KUINS)を利用する		学生	教職員	p.6
サーバをインターネットにつなぐ—KUINS-Ⅱ接続—			教職員	p.7
パソコンをインターネットにつなぐ—KUINS-Ⅲ接続—			教職員	p.8
学外から学内限定のネットワークにつなぐ PPTP接続 SSTP接続／OpenVPN SSHポートフォワード		学生	教職員	p.8
利用者認証を行いメール送信する—SMTP AUTHメール送信—		学生	教職員	p.8
無線LANを利用してインターネットに接続する—無線LAN接続サービス—		学生	教職員	p.9
一時来訪者へのネットワーク環境を提供する—ビジター向けPPTP接続サービス—			教職員	p.9
共用スペースでネットワークを利用する—認証付き情報コンセントサービス—			教職員	p.10
教育用コンピュータシステム				
教育用コンピュータシステムを利用する		学生	教職員	p.11
OSLや部局サテライト演習室のパソコンを利用する—PC端末の利用—		学生	教職員	p.12
課題、レポート等を印刷する—プリンタサービス—		学生	教職員	p.12
授業向けのサービスを利用する 授業用ソフトウェアのインストール、共有フォルダの提供、マルチメディア演習室・CALL教室の利用、 学習支援システム(PandA)、遠隔デスクトップサービス		学生	教職員	p.12
遠隔講義、遠隔会議を行う			教職員	p.13
公開講座、セミナーなどで教育用コンピュータを利用する—教育コン・一時利用アカウントの発行—			教職員	p.13
スーパーコンピュータシステム				
スーパーコンピュータを利用する アプリケーションソフトウェアを利用する 大判プリンタを利用する		学生	教職員	p.14
ホスティング・ホームページサービス				
管理者権限付きの専用サーバを利用する—VMホスティングサービス—			教職員	p.15
サーバを管理することなくホームページを公開する—ホームページサービス—			教職員	p.15
情報発信にマルチメディアコンテンツを取り入れる—ストリーミングサービス—			教職員	p.15
ハウジングサービス—サーバをデータセンターに預ける—			教職員	p.16
メールホスティングサービス—メールホスティングサービスを利用する—			教職員	p.16
eラーニング研修支援サービス—研修をeラーニング化する—			教職員	p.17
コンテンツ作成支援サービス—コンテンツ作成の支援を受ける—			教職員	p.17
京都大学オープンコースウェア(OCW)—インターネットを通じて講義等を発信する—			教職員	p.18
情報セキュリティ対策—情報セキュリティ対策を実施する—		学生	教職員	p.19
ソフトウェアライセンス管理—ソフトウェアライセンスを管理する—			教職員	p.20
情報環境機構 施設案内				
学術情報メディアセンター北館				p.22
学術情報メディアセンター南館				p.22
教育用コンピュータシステム サテライト演習室・OSL配置図				p.23

全学認証システムの概要

全学認証システムは、京都大学構成員が教育研究およびそれら業務に関する全学の情報システム等をより便利に安心してご利用いただくためのシステムです。

具体的には、個人認証のための全学 ID (ECS-ID、SPS-ID) 又は IC カード (電子証明書) を利用し、便利で安全なシングルサインオン認証を実現しています。

これらのサービスを支えているのが、電子証明書を発行する京都大学認証局、ID やパスワードの情報を保管している統合 LDAP、学生証・認証 IC カード等の IC カードです。なお、統合 LDAP、Shibboleth 認証連携システム、IC カードは部局でのご利用が可能です。

京都大学から発行されるアカウント(ID)	
対象者	学生 教職員 等
問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

京都大学が発行するアカウントは、学生アカウント (ECS-ID) と教職員アカウント (SPS-ID) の2種類があります。
学生アカウント (ECS-ID) は、全学生に対して京都大学への入学時に発行されるアルファベットと数字を含んだ ID です。
教職員アカウント (SPS-ID) は京都大学の教職員に発行される、姓名のアルファベットと数字を含んだ ID です。
次頁の図のように、ECS-ID と SPS-ID では利用できるサービスが異なりますが、両方で共通して使えるサービスもあります。

学生アカウント(ECS-ID)

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/account/account_list/ecs_account.html

対象者	学 生	学部生、大学院生、研究生、聴講生、科目等履修生、特別聴講学生、特別研究学生などの全学生
	その他	教職員アカウント (SPS-ID) が発行されない非常勤講師、名誉教授、招へい外国人学者、外国人共同研究者、学振特別研究員、学振外国人特別研究員、研修員、受託研究員、民間等共同研究員など
問い合わせ 情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp		

利用できるサービス

教育用コンピュータシステム (PC 端末サービス、プリンタサービス、授業向けサービス、CALL 教室利用) / 学生用メール (KUMOI) / ネットワーク関係 (PPTP 接続サービス、SSH ポートフォワードサービス、SMTP AUTH メール送信サービス等) / 教務情報システム (KULASIS) / 図書館機構サービス (電子ジャーナル、MyKULINE 等) / 証明書発行など

ECS-IDの発行

学生の方

1. 新規取得

4月又は10月入学の場合は、所属学部等 (研究科、附置研究所、センターなどを含む) を通じて『学生アカウント通知書～京都大学の IT サービスを利用するために～』を配付します。4月又は10月入学以外の場合は、所属学部等から発行された身分証明書を持って窓口へお越しください。

2. 利用停止と継続申請

卒業などにより学生の身分がなくなれば ECS-ID は停止します。学生アカウントの対象者に該当することとなる場合は、窓口で継続申請の手続きをしてください。

学生以外の方

1. 新規取得

下記のいずれかの身分証をご持参のうえ窓口にお越しください。

- 京都大学発行の身分証
- 部局の長の公印付受入証明書
- 日本学術振興会発行の身分証
- 名誉教授の証

2. 利用停止と継続申請

名誉教授以外の方は年度が変わった時点で利用延長の手続きが必要です。継続して利用を希望する場合は、上記いずれかの身分証をご持参のうえ、窓口で継続申請の手続きをしてください。
毎年度8月1日に停止処理を行います。

窓口一覧

- ・吉田南構内 学術情報メディアセンター南館1階
- ・北部構内 理学研究科図書室 (中央、数学、化学)
- ・医学部構内 医学図書館
- ・薬学部構内 アジア・アフリカ地域研究研究科図書室
- ・桂キャンパス 工学研究科附属情報センター
- ・宇治キャンパス 附属図書館宇治分館
- ・犬山地区 霊長類研究所図書室
- ・熊取地区 原子炉実験所図書室
- ・大津地区 生態学研究センター図書室

学術情報メディアセンター南館以外では当日処理ができないので、継続申請は日数に余裕をもって行ってください。

教職員アカウント(SPS-ID)

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/account/account_list/sps-id.html

対象者	教職員(学外非常勤講師等の一部職員を除く)、その他部局長が必要と認める者
問い合わせ	情報部情報推進課 電子事務局推進掛 e-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

利用できるサービス

教職員グループウェア(Notes/Domino)／教職員用メール(KUMail)／各種e-Learning／教育研究活動データベース／出張旅費システム／就業管理システム／人事・給与の申請閲覧等／財務会計システム／KUINS接続機器登録データベース／KUINSビジター用アカウント発行システム／図書館機構サービス(電子ジャーナル、MyKULINE等)／KULASIS(前もって登録が必要)等

SPS-IDの発行

部局の担当からの電子申請に基づき発行しています。

全学IDと利用可能なサービス

全学ID(SPS-IDとECS-ID)とICカードは下図のような情報環境機構サービス以外にも、各部局提供のサービスにも使われ始めています。利用できる部局提供のサービスについては、所属部局にお問い合わせください。

SPS-ID 認証	SPS-ID 認証 & ECS-ID 認証	ECS-ID 認証
・教職員用メール(KUMail) ・グループウェア(Notes/Domino) 教職員グループウェア(Notes/Domino)(掲示板・回覧板・施設予約・予定表・文書共有・ペーパーレス会議)、教職員用メール(KUMail)、各種e-Learning、教育研究活動データベース、出張旅費システム、就業管理システム、KUINS接続機器登録データベース、ICカード認証(目標管理・人事シート等、財務会計システム、在職証明書発行)、KUINSビジター用アカウント発行システム、サーバ証明書発行システム ・ICカード認証 目標管理・人事シート等、財務会計システム、在職証明書発行	・PPTP接続(MIAKO無線LAN) ・SSHポートフォワード ・SSTP 接続／OpenVPN 接続 ・ホームページサービスの利用申請、コンテンツ更新 ・図書館機構サービス 電子ジャーナル、データベース、MyKULINE ・Shibboleth 認証サービス CiNii、RefWorks、MS DreamSpark など ・SMTP AUTH メール送信サービス ・教育用コンピュータシステム 教育用PC端末、学習支援サービス ・認証付き情報コンセントサービス ・各種e-Learning ・学習支援システム(PandA)	・情報セキュリティ e-Learning ・全学生共通ポータル KULASIS、MyKULINE、学生用メール(KUMOI) ・学生用メール(KUMOI)

IC 学生証、認証ICカード、施設利用証	対象者 学生 教職員 等
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/iccard/type.html	問い合わせ先 情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

IC 学生証や、教職員に配布される認証ICカード・施設利用証は、かざすだけで情報の読み取りができる非接触型のICカードになっています。カードリーダーにかざすだけで入退館管理や電子マネーでの支払いができます。また、認証ICカードには、より安全な認証のための電子証明書が格納されています。

ICカードで利用可能なサービス(部局により異なる場合があります)

カード種別	対象者区分	利用可能な機能
IC 学 生 証	学部学生、大学院生	証明書自動発行 ICカードを用いたセキュアなコピーやプリントアウト 入退室(館)管理 京大生協組合員証および京大生協電子マネー(組合員のみ)
認証ICカード	総長、理事、監事、教職員(学外非常勤講師、TA/RA/OA、短期雇用者を除く)、部局の長が必要と認める者	セキュアなシステムへのICカードによるログイン ICカードを用いたセキュアなコピーやプリントアウト 入退室(館)管理 京大生協組合員証および京大生協電子マネー(組合員のみ)
施 設 利 用 証	上記以外で、施設利用証を用いて入退館等を行う者	入退室(館)管理

全学情報システム	対象者 教職員
	問い合わせ先 情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

認証に利用しているサービスやシステム(全学認証システム)は全学情報システムに指定されており、下記のURLの中の「全学情報システム利用規則」に従ってご利用いただきます。皆さんの大切な認証情報ですので、十分に注意してご利用ください。

情報セキュリティ関連規程： http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ismo/regulation/

認証ポータルサイト

学生用ポータルサイト — 全学生共通ポータル — https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/	対象者	学生
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

全学生を対象としたポータルサイトで、学生アカウント(ECS-ID)とパスワードでログインします。

講義情報の確認、図書館機構サービス、電子メール、インターネット上での学習システムといった学生生活に欠かせない情報システムやサービスを安全・便利に利用できます。

基本的な機能

- ・シングル・サインオン：KULASIS(教務情報システム)、MyKULINE、学生用メール(KUMOI)、情報セキュリティ e-Learning、学習支援システム(PandA)

※ ECS-ID 取得者のうち学生以外の方はアクセスできません。それぞれの URL からアクセスしてください。

教職員用ポータルサイト — 教職員グループウェア(Notes/Domino) — https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報推進課 電子事務局推進掛 e-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

教職員(学外非常勤講師等の一部職員を除く)を対象としたポータルサイトで、教職員アカウント(SPS-ID)とパスワードでログインします。安全・安心にご利用いただくために、専用の認証システムを構築しているほか、多くの機能を有しており、教職員の利便性の向上に貢献しています。

基本的な機能

- ・シングル・サインオン：教育研究活動データベース、人事・給与申請閲覧等、財務会計システム、出張旅費システムなどへ再認証せずに当該システムにログインすることができます。なお、財務会計システムはICカード認証が必要です。
- ・掲示板：教職員へのお知らせを掲載・閲覧できます。
- ・教職員用メール(KUMail)：全教職員の情報伝達を安全かつ効率的に行うインフラです。
- ・予定表：教職員の予定情報を共有し、会議や打ち合わせの日程調整など日々の業務の効率化を図ります。
- ・回覧板：特定の方々への通知方法として利用できます。メールとは異なり誰が既読／未読であるかをその閲覧グループ内で確認できます。
- ・施設予約：会議室や貸出物品等について、時間・場所の制約を受けずに空き状況の確認・予約等ができます。
- ・文書共有：教職員が使用する文書等を共有することができます。
- ・その他、KUINS ビジター用アカウント発行システム、KUINS 接続機器登録データベース(KUINS-DB)、京都大学規程集、役職者内線番号一覧、事務本部・共通事務部座席表、職員録、資産の供用公募等もこちらからご覧いただけます。

京都大学から付与されるメールアドレス（全学メール）

本学の学生・教職員に対して安全かつ迅速な情報伝達手段の確保を図るとともに、本学の教育・研究、業務(学生を除く) およびその他の個人の責任で利用することに供するために、全学メールを提供しています。同時に学生、教職員への同報メールの確立と安全かつ利便性の高いメール環境を実現することを目的としています。全学メールは、学生が利用できる学生用メール(愛称: KUMOI) と教職員が利用できる教職員用メール(愛称: KUMail) から構成されています。

学生用メール — KUMOI (くもい) — http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumoi/index.html	対象者	学生アカウント(ECS-ID)所有者
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

学生アカウント(ECS-ID)を取得している正規および非正規学生等を対象に提供しています。メールアドレスの形式は「(姓).(名).(3文字の英数字)@st.kyoto-u.ac.jp」です。

学内外を問わずインターネットに接続されたWebブラウザから利用できるWebメールとしての利用の他、OutlookやThunderbirdなどのメールソフトからPOP over SSL、IMAP over SSLによる受信ができます。

本サービスは、マイクロソフト社のクラウドサービス(Office365)を利用して運用しています。

教職員用メール — KUMail (くまいる) — http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumail/index.html	対象者	教職員アカウント(SPS-ID)所有者
	問い合わせ先	情報環境支援センター (KUMail担当) kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

教職員アカウント(SPS-ID)を取得している全ての教職員を対象に提供しています。メールアドレスの形式は、「(姓).(名).(2文字の英数字)@kyoto-u.ac.jp」でSPS-IDから自動的に生成。

主な利用法は、1) Webメールとして利用、2) 現在お使いのメールソフトでの利用、3) 現在お使いのメールアカウントへの転送です。京都大学教職員グループウェアからも利用できます。

本サービスは、学内の汎用コンピュータシステム上で運用されています。

オプションサービス

・KUMailストレージサービス

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumail/KUMail_storage

学内のサーバにインターネット経由でファイルを保存し、ファイルを保存したサーバのURL(場所)を通知することにより、学内外の研究者へファイルを送ったり、ファイルを受け取ることができる無料のオンラインストレージサービスです。

共有したいファイルを電子メールに添付するのではなく、ファイルを保存したサーバのURL(保存場所)を通知し、ファイルをダウンロードするというもので、メール認証やパスワード設定等により、安全にファイルの受け渡しができます。

メールに大容量のファイルを添付しないため、メールサーバやネットワークへの負荷を軽減することが期待できます。利用者(教職員)ごとに2GBのユーザフォルダが利用できます。

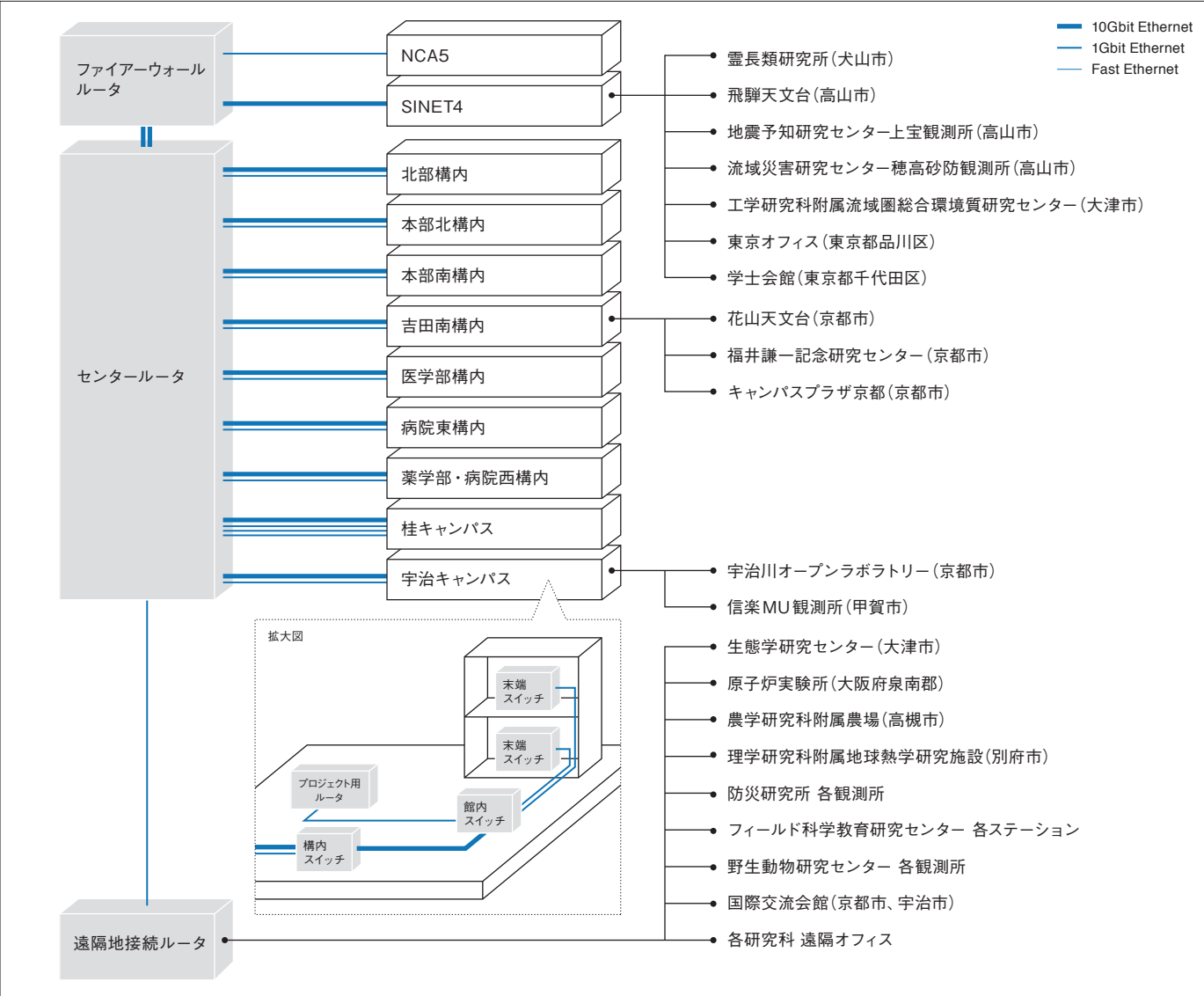
京都大学学術情報ネットワークシステム (KUINS)

ネットワーク(KUINS)を利用する	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

京都大学学術情報ネットワークシステム(KUINS: Kyoto University Integrated information Network System)は、京都大学の全学的なコンピュータネットワークであり、吉田キャンパス、宇治キャンパス、桂キャンパスをはじめ犬山(愛知県犬山市)や熊取(大阪府泉南郡)などの遠隔地まで、全学の主要な施設をカバーしています。学外のインターネットとはSINET4(国立情報学研究所が運用管理している国内の学術研究用ネットワーク)等を介して接続されています。

ネットワークの基幹部分には、ファイアーウォール、不正アクセス監視装置、ウイルスチェックサーバ、SPAMメールチェックサーバ等を導入し、常時セキュリティ対策を行っています。

情報環境機構では、通信に利用する各種サーバ、センタールータ、構内スイッチから、各施設のフロアごとに設置している末端スイッチや共用無線LANアクセスポイントまで、KUINSのネットワークインフラを維持・管理しています。また、提供サービスとして、学内でネットワークを利用するための利用申請の受付および設定、VPN接続サービスの運用、遠隔地におけるKUINSの利用支援を行っています。



京都大学学術情報ネットワークシステム システム図

システム利用案内 「管理責任者」、「支払責任者」になる方は別途KUINS利用アカウントが必要です。

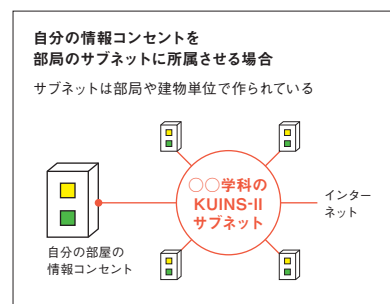
利用資格	教職員
利用負担金	必要 KUINS-II: IPアドレス1つにつき 月額 1,500円 KUINS-III: 情報コンセント1個につき 月額 300円
使用できる予算科目	研究経費(教育研究事業費)、教育経費(教育研究事業費)、受託研究費、一般管理費(教育研究事業費)教育研究支援経費(教育研究事業費)、教育研究支援経費(厚生補導費)
申請	KUINS-DB(KUINS 接続機器登録データベース)から電子申請 ※教職員グループウェア<業務・規程類>ネットワーク申請等<KUINS 接続機器登録データベース

サーバをインターネットにつなぐ —KUINS-II接続— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/lineup/kuins2.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

KUINS-IIは、グローバルIPアドレスを使用するネットワークです。主に、学外と直接通信を行うメールサーバやWebサーバ等をKUINSのネットワークに接続します。KUINS-IIに接続する機器は、サーバやPCごとの管理責任者や、サーバ等の固有情報を登録して端末からネットワークに接続できるようにし、高いセキュリティレベルを確立しています。

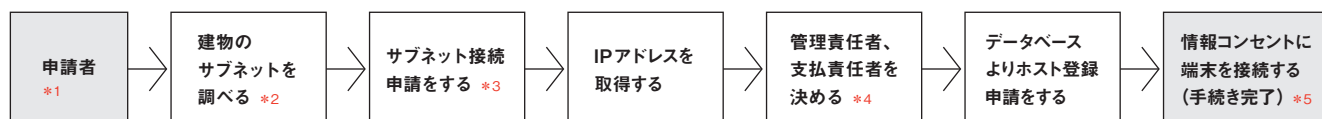
原則として建物単位又は部局単位でKUINS-IIのサブネットを割り当てており、各サブネットの「サブネット連絡担当者」がグローバルIPアドレスを管理しています。

機器を接続するには、利用したい情報コンセントをサブネットに所属させ、IPアドレスや接続機器の情報を「KUINS接続機器登録データベース」に登録する必要があります。なお、グローバルIPアドレス1つごとに所定の利用負担金が課金されます。



KUINS-II利用例

KUINS-II 利用の申請手続き



*1 使用する情報コンセント番号をご確認ください。情報コンセントは主に居室の壁面に設置されています。

*2 建物のサブネットおよびIPアドレスを管理しているサブネット連絡担当者がわからない場合は、お問い合わせください。

*3 サブネット接続申請書

*4 管理責任者、支払責任者になる方は、KUINS利用アカウントが必要です。

*5 設定完了通知がメールで届きます。設定完了後に接続ができない場合は、KUINSホームページ「KUINS利用に関する情報」を参照ください。

KUINS ホームページ: <http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/>

パソコンをインターネットにつなぐ —KUINS-III接続—	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

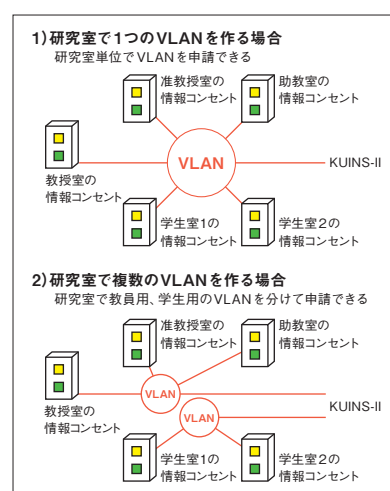
KUINS-IIIは、プライベートIPアドレスを使用するネットワークです。主に、学外と直接通信する必要のない個人のPC等を接続します。KUINS-IIIと学外との通信は、プロキシサーバを経由して行います。

各施設の部屋に設置された情報コンセントでVLAN (Virtual LAN) と呼ぶ論理的なサブネットを形成することができます。研究室単位でVLANを構築することはもちろん教員用、学生用などとVLANを細分化して構築することも可能であり、管理者の運用ポリシーを反映させることができます。IPアドレスは、DHCPによって割り当てられるアドレス、固定アドレスの両方が利用できます。

KUINS-II ではあらかじめ建物単位又は部局単位でサブネットを割り当てていますが、KUINS-IIIでは、研究室や個人でVLANの利用申請を行う必要があります。利用申請はKUINS-IIと同様に「KUINS接続機器登録データベース」から行います。

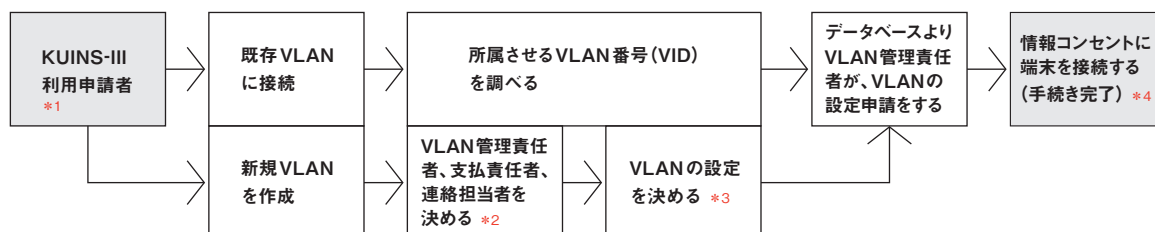
HUBを利用し1つの情報コンセントに複数の端末を接続することも可能です。

なお、登録した情報コンセント1ポートごとに所定の利用負担金が課金されます。



KUINS-III利用例

KUINS-III 利用の申請手続き



*1 使用する情報コンセント番号をご確認ください。情報コンセントは主に居室の壁面に設置されています。

*2 管理責任者、支払責任者になる方は、KUINS利用アカウントが必要です。

*3 KUINS-IIIのVLANには、OPENスペース設定とCLOSEスペース設定の2種類があります。OPENスペース設定VLANの情報コンセントから通信を行う場合、端末にPPTP接続の設定をする必要があります。(IDによる認証を行うため)

OPENスペース設定: 人の出入りが限定されない部屋(講義室、会議室、自習スペース等)

CLOSEスペース設定: 人の出入りが限定される部屋(研究室、事務室等)

*4 設定完了通知がメールで届きます。設定完了後に接続ができない場合は、KUINSホームページ「KUINS利用に関する情報」を参照ください。

KUINS ホームページ: <http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/>

学外から学内限定のネットワークにつなぐ	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

学外から学内限定のネットワークにつなぐ方法として次の3つの方法があります。

- ・PPTP 接続
- ・SSTP 接続／OpenVPN
- ・SSH ポートフォワード接続

本サービスを利用することにより、自宅や職場など学外のネットワークからの接続を、学内の標準的な KUINS-III CLOSE スペース設定 VLAN に接続している状態に準じた接続環境にすることができます。これにより、学内に限定して提供されているオンラインサービス(電子ジャーナルの閲覧、グループウェアの利用等)に安全にアクセスすることが可能となります。

・PPTP 接続

PPTP 接続サービスは、学外のネットワークや、学内の共用無線 LAN、OPEN スペース設定 VLAN 等からの安全な接続のための、PPTP (Point to Point Tunneling Protocol) による接続サービスです。PPTPとはVPN(Virtual Private Network)技術のプロトコルの一種です。本サービスには、申請が不要でPCの設定のみで利用可能なサービス(単に「PPTP 接続サービス」と呼びます)と、KUINS-III VLANの管理責任者からの申請が必要な「PPTP-VLAN 固定接続サービス」の、二つのサービスがあります。後者は、学外のネットワークおよび異なるキャンパスから、普段利用しているVLANへのアクセスを可能にするサービスです。このサービスを利用するにはTCPプロトコル(1723 番ポート)、GRE プロトコル(47 番ポート)が通信できることが必須です。

利用方法・接続設定方法：<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/lineup/pptp.html>

・SSTP 接続サービス／OpenVPN 接続

SSTP(Secure Socket Tunneling Protocol)接続サービスおよびOpenVPN 接続サービスは、VPN による学外のネットワークからの安全な接続のための、SSL を利用した接続サービスです。

SSL とは、インターネット上で情報を暗号化して送受信するプロトコルです。広く利用されている WWW や FTP といったデータを暗号化し、部外秘の情報やプライバシーに関わる情報等を安全に送受信することができます。これらの接続はTCPプロトコル(443 番ポート) を利用するため、前述のPPTP 接続が利用できない環境でも接続できる場合があります。

利用方法・接続設定方法

SSTP サービス：<http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/ja/index.php?SSTP>

OpenVPN 接続：<http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/ja/index.php?OpenVPN>

・SSH ポートフォワード接続

SSH (Secure SHell) は、ネットワークを介して別のホストと暗号化通信するためのプロトコルです。ポートフォワードは、このSSHで暗号化したデータを任意のホストおよびポートに対して転送する機能です。ポート転送の機能を使うことにより、学外ネットワークの端末から直接学内のサーバに接続することができます。

本サービスを利用すると、ネットワークを流れるデータは暗号化されますので、インターネット経由で学内へ安全な接続を行うことができます。

利用方法・接続設定方法：<http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/ja/index.php?SSH>

利用者認証を行いメール送信する —SMTP AUTH メール送信サービス—	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

SMTP AUTH 認証機能を持った送信用メールサーバを提供しています。このサーバではメールの送信時に ECS-ID・SPS-ID とパスワードにより認証を行い、認証が成功したユーザにのみメール送信を許可します。

利用者認証を加えることで、学内で運用されているメールサーバが SPAM メール の転送サーバとして利用されることを防止し、京都大学のアドレスが送信先のブラックリストに入れられメールが受信拒否されたり、遅配したりするようリスクが低減されます。このサーバは、学外からでも接続可能です。

本サービスは、メールソフト等の設定で送信サーバにこのサーバを指定することで利用できます。対応プロトコルは、SMTPS (TCP/465)、MSA(TCP/587) です。

利用方法：<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/lineup/smtp-auth.html>

無線LANを利用してインターネットに接続する — 無線LAN 接続サービス —	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

教育環境の整備と学習・研究支援機能強化を目的に、共有スペースにおけるアクセスネットワークとして無線によるネットワーク環境を構築・整備しています。

京都大学内で使用できる無線LANへの接続方法は「MIAKO ネット方式」と「eduroam 方式」の2種類があります。

「MIAKO ネット方式」は前述の「PPTP 接続サービス」「SSH ポートフォワードサービス」等を利用することで通信が可能となります。

「eduroam 方式」はeduroam (<http://www.eduroam.jp/>) という、複数の大学等教育研究機関の間での無線LANローミング(相互利用)環境を提供するサービスを利用して接続します。eduroamの利用アカウントを取得することで、学内外の所属を問わず、京都大学内のアクセスポイントで通信が可能となります。

eduroam方式の無線LANを使ってネットワークに接続するには、eduroam利用アカウントが必要です。アカウントを取得するには、eduroam参加機関(大学、研究所)からの発行を受ける必要があります(参加機関一覧／eduroam JP ホームページ)。

京都大学のeduroam利用アカウントは、下記のURLにアクセスし、SPS-ID又はECS-IDでログインして取得してください。

<https://eduroamshib.nii.ac.jp/>

なお、eduroamで接続した場合に付与されるIPアドレスは学外のものであるため、電子ジャーナルやグループウェアなど学内限定のオンラインサービスへのアクセスはできません。

一時来訪者へのネットワーク環境を提供する — ビジター向けPPTP 接続サービス —	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

KUINSでは、学外所属の方向けのインターネット接続サービスとして、ビジター向けPPTP接続サービス(PPTPG接続サービス)を提供しています。

学外所属の方が学内でPCを利用される場合、訪問先のネットワーク・情報コンセントを利用する以外にも、KUINSが設置している無線LANアクセスポイント(MIAKO ネット)を利用し、VPN(PPTP)接続をすることで、インターネットに接続することができます。PPTP接続をするには、KUINS運用委員会の発行する「ビジター用アカウント(ゲストアカウント)」が必要になります。

ビジター用アカウントの発行を申請することができるのは学内の教職員だけです。

ビジター用アカウント申請・発行方法

教職員グループウェア(<https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/portal/>)にログインする

⇒上部メニューの「業務・規程類」を選択する

⇒「ネットワーク申請等」欄の「KUINSビジター用アカウント発行システム」を選択する

⇒「アカウント設定」で、

利用開始日(利用開始日は61日先まで指定可能)

利用可能日数(31日以内)

発行アカウント数(1日62アカウントまで可)

を設定し、「送信」をクリック

⇒印刷画面が出てくるので、その画面を保存し、印刷

⇒印刷した紙を、利用希望者の情報を控えてから希望者に配付

(アカウント利用期間終了から3ヶ月間は保管してください。)

利用方法・接続方法: <http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/ja/index.php?PPTPG>

共用スペースでネットワークを利用する — 認証付き情報コンセントサービス —	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 ネットワーク担当 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

「認証付き情報コンセントサービス」とは、学内施設のホールや会議室等の共用スペースにて、KUINSの情報コンセントからインターネットに接続するためのサービスです。

学内の共用スペースでのインターネット接続は、無線LANアクセスポイント(MIAKO ネット)や「OPENスペース設定」の情報コンセントを介して「PPTP接続」等を行うことで利用いただいておりますが、本サービスはそれに代わる簡便なサービスとして提供するものです。ただし、学内専用のページ(電子ジャーナルや教職員グループウェア等)を閲覧する際はWeb認証後、PPTP接続が必要となります。

本サービスは大きく分けて次の2種類の利用形態があります。

・スイッチ貸し出しサービス

学内の共用施設で貸与するネットワークスイッチ(貸し出しスイッチ)を特定の情報コンセントに接続し、そのスイッチにPC端末やHUB・無線ルータを接続して利用することのできるサービスです。PCの接続時には、Webの画面でID(SPS-ID、ECS-ID、ビジター用アカウント、eduroamアカウント)・パスワードによる認証を行い、認証が成功するとインターネットへの接続が可能となります。また、貸し出しスイッチのポートの一つはKUINS-IIのポートとして利用することもできます。

・情報コンセントWeb認証サービス

このサービス専用設定した情報コンセントに(スイッチを介さず)PC端末・HUBを接続して利用します。接続後、Webブラウザで自動的に表示される画面でIDとパスワードを用いて認証を行い、認証成功後にインターネットへの接続が可能となります。

このサービスの対象(設定できる場所)は、人の出入りが限定されない共用スペース(講義室、会議室、自習スペース等)です。個別の研究室、事務室は対象ではありません。現在は、吉田、宇治、桂地区のみが対象となっています。

このサービスを利用するには、情報コンセントをあらかじめ認証コンセントとして登録・設定する必要があります。

利用を希望する場合は、部局の「部局情報セキュリティ技術責任者」から、KUINS運用委員会へ「情報コンセントWeb認証サービス設定依頼書」をメールで提出してください。

「情報コンセントWeb認証サービス設定依頼書」

<http://www.kuins.kyoto-u.ac.jp/service/auth-plug/authplug-app.html>

(送付先: q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp)

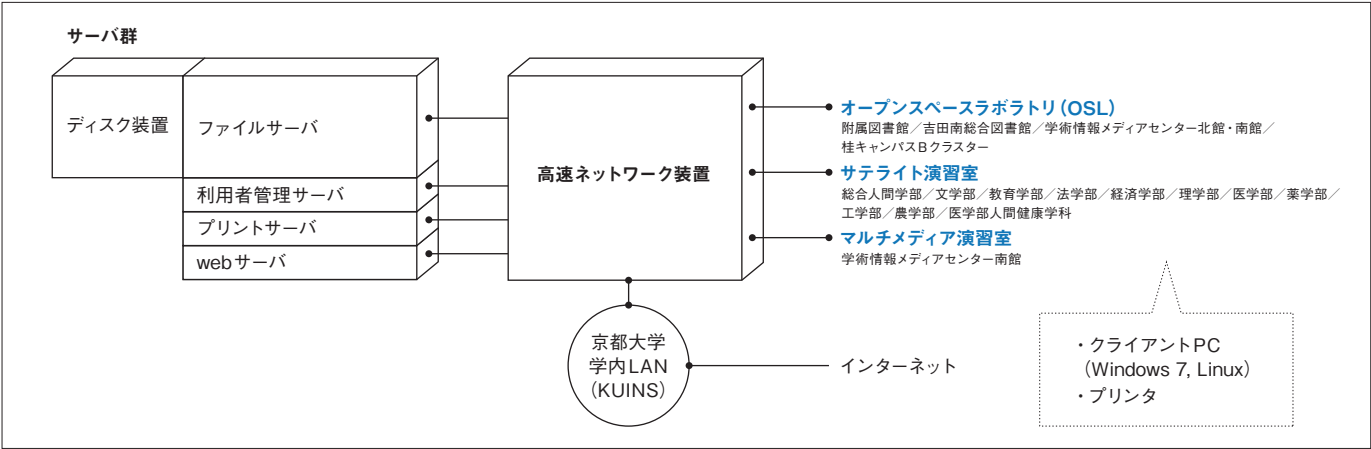
教育用コンピュータシステム

教育用コンピュータシステムを利用する	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/>

教育用コンピュータシステムは、本学の情報教育のために提供されているシステムです。情報教育を支援するため、学術情報メディアセンター南館に情報教育や語学学習(CALL)用演習室を設置し、各学部にもサテライト演習室を展開しています。学生の自主学習用として、学術情報メディアセンター北館2階201・203、南館1階東側・西側、附属図書館3階、吉田南総合図書館2階、桂キャンパスBクラスター船井交流センター3階の5箇所をオープンスペースラボラトリ(OSL)として提供しています。これらのサテライト演習室やOSLには、パーソナルコンピュータ端末(PC 端末)があり学生は学生アカウント(ECS-ID)で、教職員は教職員アカウント(SPS-ID)で利用できます。これらのPC 端末は、オペレーティングシステム(OS)としては、Windows および Linux が利用できることや、ファイルサーバと接続されていることにより、どこかのPC 端末からでも同一の利用者のファイルを読み書きできます。同室内にプリンタ(一部のサテライト演習室・OSLを除く)が設置されており、授業の課題やレポート提出のために利用できます。

新学期には、新入生に対して学生アカウント利用のための講習会を集中して開催し、情報リテラシーを中心に講習を行っています。

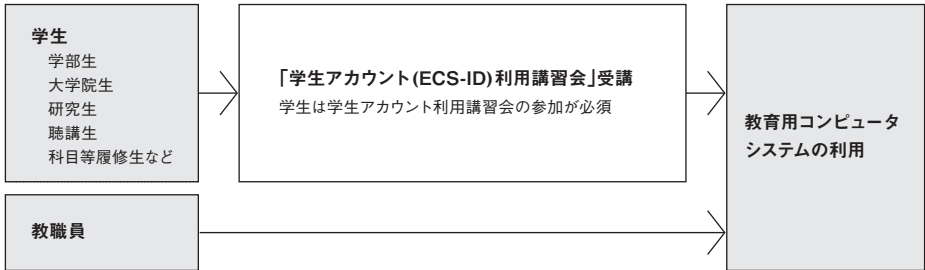


教育用コンピュータシステム システム構成図

利用の手続き

新しく京都大学に入学した学生が教育用コンピュータシステムを利用するには、ECS-IDと「学生アカウント(ECS-ID) 利用講習会」の受講が必要です(受講の際には学生証をご持参ください)。

平成24年度以降に入学された学生の方へは所属部局を通してECS-IDと有効化手順を記載した『学生アカウント通知書～京都大学のITサービスを利用するために～』をお渡ししています。通知書を受け取っていない方は、学術情報メディアセンター南館の窓口へお問い合わせください。教職員の方はSPS-IDで利用できます。



OSLや部局サテライト演習室のパソコンを利用する —PC端末の利用— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/services/terminal.html http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/call/services/autonomous.html	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

各学部サテライト演習室は、当該部局の情報教育に関わる専門科目が中心に授業が実施されています。学部によっては、サテライト演習室で授業がない時間帯を所属の学生に開放しているところもありますので当該学部の教務掛にお尋ねください。

OSLは、授業と関係なく開館中はいつでも自由にPC端末が利用できます。マイドキュメント(Mドライブ)の格納制限は300MBまでです。超えている場合はアプリ等が正常に動かなくなる場合がありますので、USBメモリを持参するなどして制限容量以内で利用してください。また、これらのPC端末は自律学習用CALL端末として利用いただけます。PC端末には、さまざまな外国語学習用の教材がインストールされていますので、開館中はいつでも自由に学習することができます。なお、利用の際は、各自でイヤフォン等をご用意ください。

* CALL=Computer-Assisted Language Learning(コンピュータ支援型言語学習)

* OSLおよび学部サテライト演習室配置図(23ページ参照)



OSL 利用状況

* OSLの空き情報を表示していますので、来場の目安にしてください。

ただし、閉館されている場合や、来場された場合に実際の状況とは異なることもあります。

課題、レポート等を印刷する —プリンタサービス— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/services/printer.html	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

OSL、および各学部サテライト演習室(一部のサテライト演習室を除く)に設置しているプリンタを利用して、年度の制限枚数200枚(両面印刷で400ページ、期間は4月～翌年3月で翌年4月に200枚が再設定される)までの印刷出力ができます。なお、規定枚数に達して印刷ができなくなった場合はPDF化してUSBメモリに保存し、京大生協(吉田・南エリアの吉田ジョップ、時計台生協ジョップ)等のコピー機で印刷(有料)してください。

授業向けのサービスを利用する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/services/class.html	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

教育用コンピュータシステムを利用する授業のために次のサービスを行っています。

・授業用ソフトウェアのインストール

授業担当教員からの申請に応じて、授業に必要なソフトウェアを学期ごとにインストールし提供しています。またライセンスサーバの運用も行っています。

・共有フォルダの提供

授業での資料配布などのためにLinuxからアクセスできる共有フォルダを提供しています。

・マルチメディア演習室・CALL教室の利用

学術情報メディアセンター南館には、演習用のPC端末やプレゼンテーション用のプロジェクタ、資料提示装置を備えた「マルチメディア演習室」とヘッドセットマイクロフォン、MDレコーダー等の周辺機器や各種メディアに対応するAVシステムを備えた「CALL教室」を整備しており、全学共通科目を中心とした授業用に提供しています。

・学習支援システム(PandA) http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/services/web_ct.html

平成25年度前期より学習支援システム(PandA)の運用を開始しました。学習支援システムは授業と連動するコンテンツをWebブラウザから教員と学生が利用するサービスで、授業の運営における教員と学生の活動を支援するために導入しました。授業資料の配布、学生からの課題提出、小テストなどを行うことができます。一部の機能はKULASIS(京都大学教務情報システム)と重複します。これについてはどちらを利用するか、個々の授業の中で方針をお決めください。

またOCWと異なり教員、学生の認証を経て利用していただくシステムで、授業活動そのものの支援を目的としています。

学習支援システム(PandA)の入口: <https://panda.esc.kyoto-u.ac.jp>

・遠隔デスクトップサービス <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/services/rd.html/>

遠隔デスクトップサービスは、自宅や研究室といった遠隔地から教育用コンピュータシステムの端末サービスの一部を利用することができるサービスです。自宅での自学自習や遠隔地での授業の準備などにご利用いただけます。

サービスの利用には利用期間が設けられており、期間を超過すると自動的に利用できなくなります。利用期間は任意ですが、最長90日です。

利用期間の超過後も利用したい場合は、延長の申請をしてください。延長申請の受理によって期間を延長することができます。

※サービスの利用人数に制限があることから、サービスの利用申請は教員からのみ受け付けています。

遠隔講義、遠隔会議を行う http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/distlearn/lineup/lecture.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ (遠隔講義支援担当) dl-qa@media.kyoto-u.ac.jp

大学のキャンパス間で行われる遠隔講義から、国内の他大学・研究機関との遠隔講義、海外の大学との遠隔講義に至るまで、幅広いニーズに応じた遠隔講義の実施を支援しています。学内に20箇所程度配備された高精細遠隔講義システムは、H.323と呼ばれる国際標準規格に準拠していますので、国内外の様々な遠隔会議・講義システムと接続可能です。その他、様々なネットワーク環境に応じた機器と長年蓄積したノウハウを活用して遠隔講義をサポートしています。

また、海外・国内・学内との間の遠隔会議の実施に関する相談も受け付けています。

遠隔講義の実施には、機材・人員の確保などの事前準備を行っておく必要があります。具体的な期日や内容が未定でも、できるだけ早くご相談ください。

公開講座、セミナーなどで教育用コンピュータを利用する — 教育コン・一時利用アカウントの発行 — http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/services/tempaccount.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 教育支援グループ edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

教育用コンピュータシステムでは、公開講座、セミナーなどで京都大学構成員だけでなく、一般の方にも一時的に教育用コンピュータシステムをご利用いただける「教育コン・一時利用アカウント」を発行しています。

一時利用アカウントの申請は京都大学教員からの申請に限っており、利用は申請者の管理下で行っていただきます。なお、一時利用アカウントではプリンタサービスはご利用になれません。

ご希望の方は事前に利用予定日時、利用者数などご相談のうえ、「教育コン・一時利用アカウント交付申請書」を提出してください。なお、学内便の往復には4日間程度日数がかかりますので、申請書は利用予定日の1週間前には届くようにしてください。

また、サテライト演習室の利用は各学部の教務掛に、学術情報メディアセンター南館演習室の利用は共同利用掛(南館窓口)にお問い合わせください。

スーパーコンピュータシステム

スーパーコンピュータを利用する	対象者	学生 教職員 等
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 共同利用掛 zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/comp/>

スーパーコンピュータシステムは、京都大学内のみならず、全国の大学等の研究者を対象にして、学術研究にともなう科学技術計算や情報処理を行うために設置されたシステムです。

このシステムは、サービスに応じた利用負担金を支払うことで、研究者だけでなく大学院生や卒業研究を行う学部学生の方々にもご利用いただけます。

スーパーコンピュータのサービスは、大規模な科学技術計算および計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアを提供し、学術研究を支援します。

また、プログラミングやチューニングに関するコンサルティングや、プログラミング技術および各種アプリケーションソフトウェアの利用方法などを習得するための講習会を開催して、利用者をサポートしています。

・アプリケーションソフトウェアを利用する

計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアのサービスを提供しています。また、研究室では導入・維持が難しい高価なアプリケーションが、安価でしかも常に最新バージョンで使えます。

可視化	AVS/Express、Tecplot、IDL、Exceed onDemand
リモートセンシング	ENVI
数式処理	Maple、Mathematica
技術計算	MATLAB
構造解析	Adams、Nastran、Patran*、Marc、Marc Mentat*、LS-DYNA、ANSYS
計算化学	Gaussian、GaussView*、MOPAC
統計解析	SAS
デバッグ	TotalView

*プリポストソフトウェア：アプリケーションソフトに対し、計算モデルの作成や結果の表示といった本計算の前後で補助的な処理を行うソフトウェア

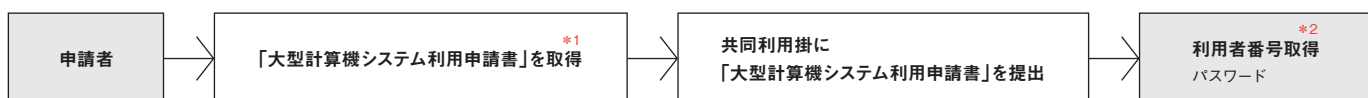
・大判プリンタを利用する

スーパーコンピュータ利用者の方向けに、学会のポスターセッションなどの資料作成用として、36インチ(914mm) 幅の用紙にカラー印刷することができる大判プリンタのサービスを提供しています。

システム利用案内 ①利用には大型計算機システム利用者番号が必要です

利用資格	次のいずれかに該当する方 1. 大学、短期大学、高等専門学校又は大学共同利用機関の教員およびこれに準ずる者 2. 大学院の学生およびこれに準ずる者 3. 学術研究を目的とする国又は自治体が所轄する機関に所属し、専ら研究に従事する者 4. 科学研究費補助金等の交付を受けて学術研究を行う者 5. その他センター長が必要と認めた者
利用負担金	要(私費では利用できません)
申請窓口	情報部 情報基盤課 共同利用掛 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター南館 1 階 TEL 075-753-7424 E-mail zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp

アカウント(大型計算機システム利用者番号)取得の流れ

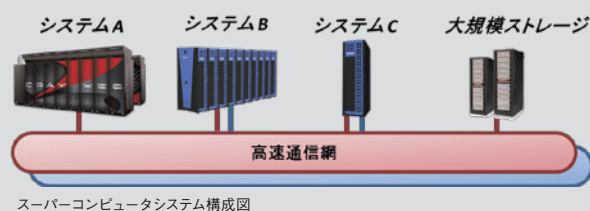


*1
大型計算機システム利用申請書：以下の Web ページよりダウンロード
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/comp/apply/sinsei.html>

*2
大型計算機システム利用者番号：“先頭のアルファベット1文字”に5桁の数字を加えた6文字の番号

スーパーコンピュータシステムについて

平成24年5月にサービスを開始したスーパーコンピュータシステムは、A、B、Cの3種類のシステムと総ディスク容量5PBの大規模ストレージから構成されています。システムAは、1ノードあたり32コア、64GBのメモリを有する940台のノードが高速通信網で接続されたMPP (Massively Parallel Processor) システムです。ピーク演算性能300.8TFlops、総メモリ容量59 TBの性能・規模を有しており、高い演算性能が特長です。システムBは、1ノードあたり16コア、64GBのメモリを有する601台のノードが高速通信網により接続されたクラスターで、研究室で利用されることが多いPCクラスターとの高い互換性が特長です。ピーク演算性能242.5TFlops、総メモリ容量38TBの性能・規模を有しています。システムCは、1ノードあたり32コア、1.5TBのメモリを有する16台のノードが高速通信網により結合されたクラスターで、ノードあたりの巨大なメモリ容量が特長です。ピーク演算性能10.6TFlops、総メモリ容量24TBの性能・規模を有しています。



ホスティング・ホームページサービス

京都大学情報環境機構の汎用コンピュータシステム内に占有または共有のバーチャルマシン (VM) を設置し、学術研究・教育等に関する情報発信・広報に利用するための環境を提供しています。

本サービスを利用することで、自前でサーバを用意することなく、サーバの運用やホームページの公開・マルチメディアコンテンツの配信などを行うことが可能になります。また、それに伴うサーバの維持管理やセキュリティ対策などに必要な労力を軽減できます。

管理者権限付きの専用サーバを利用する —VMホスティングサービス— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/whs/lineup/vm.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 学術情報基盤担当 whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp

占有 VM による独自ドメインの計算機環境 (サーバ) を提供します。管理者ユーザ (root) への昇格が可能なので、自由なサーバ構築・運用ができます。Web やメールのサービスを提供するネットワークサーバとしての運用はもちろん、組織内でデータを共有するための NAS サーバとして活用することもできます。また、必要に応じて、搭載するディスク容量や CPU コア数・メモリを増量することも可能です (別途負担金が必要)。サーバ OS は標準で RHEL6 を搭載していますが、Windows など他の OS も選択できます (RHEL 以外の有償 OS をインストールする場合は別途ライセンスの購入が必要)。

サーバを管理することなくホームページを公開する —ホームページサービス— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/whs/lineup/homepage.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 学術情報基盤担当 whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp

仮想ホスト機能を用いた独自ドメイン名での Web サイトの公開およびメール転送を行う環境を提供します。情報環境機構で管理する共用の Web サーバを使用するので、自身でサーバを構築・管理する必要がなく、コンテンツを用意するのみで Web サイトを持つことができます。CGI や PHP のスクリプト言語とデータベース (MySQL と PostgreSQL) が利用可能で、CMS や Web アプリケーションなどを活用した Web 公開もできます。また、必要に応じて、公開するコンテンツを置くためのディスク容量を増量できます (別途負担金が必要)。

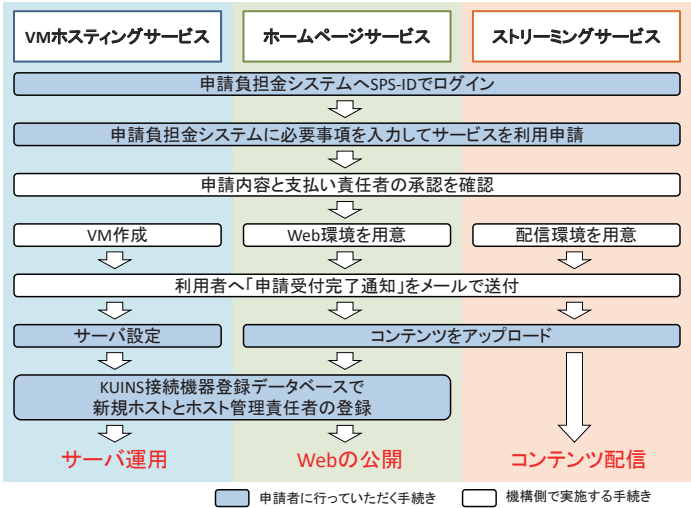
情報発信にマルチメディアコンテンツを取り入れる —ストリーミングサービス— http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/whs/lineup/stream.html	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報部情報基盤課 学術情報基盤担当 whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp

映像や音声などのマルチメディアコンテンツを学内外にストリーミング配信する環境を提供します。情報環境機構で管理する共用のサーバ (Helix Server) を使用するので、手軽にコンテンツを配信できます。また、必要に応じて、公開するコンテンツを置くためのディスク容量を増量できます (別途負担金が必要)。

※公開するコンテンツの作成・管理ならびに VM サーバの構築・運用は、利用者の責任で行ってください。また、セキュリティ対策等にも十分留意してください。
なお、本サービスの利用にあたっては、ホスティング・ホームページサービス利用規約を確認のうえ、同意いただく必要があります。

サービスごとの利用手続きの流れ

本サービスの利用申請は、申請負担金システムによる Web オンライン申請となっています。
利用申請から利用開始までの手続きの流れは次のとおりです。



ハウジングサービス

サーバをデータセンターに預ける	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構のデータセンターにおいて、部局等が保有するサーバに対する設置スペース、電源設備、空調設備、情報コンセントを提供するサービスです(利用負担金が必要)。

さらに、サービスを利用したサーバに対する情報セキュリティ対策支援、データバックアップ支援をオプションサービスとして提供します(別途負担金が必要)。

データセンターにおける全学的なサーバの集約化により、空調設備などへの投資経費の削減、消費電力量の削減によるCO2削減、物理的セキュリティの強化、情報セキュリティ対策コストの削減、信頼性の向上など効率的・効果的な運用・管理を実現できます。

ご興味を持たれた場合は、お気軽にご相談ください。

本サービスのメリット

- ・サーバ設置時に必要な、電源、空調、ネットワーク情報コンセント整備に対する投資が不要です。
- ・サーバが占有していたスペースの研究室などへの転用により、スペースの有効活用が可能です。
- ・空調設備など附帯設備の保守・維持、更新などの費用を削減できます。
- ・情報セキュリティ対策、データバックアップに関する負担の軽減が図られます。

メールホスティングサービス

メールホスティングサービスを利用する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/mail_hosting/mhs_service_open	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター (KUMail 担当) kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

部局ドメイン宛でのメールを受け取り、事前に登録されたメールアドレスに転送するサービスです。利用は無料です。ただし、本サービスにはスプール機能(メール保管場所)が無いいため、転送先に設定するアドレスが受信サーバを持っている必要があります。

このサービスでは、次のような利用ができますので、部局メールサーバを廃止しても、現行の部局メールアドレスをそのまま利用することができます。

ご興味を持たれた場合は、お気軽にご相談ください。

- ・部局メールアドレスに届いたメールを全学メールアドレス(KUMail, KUMOI)に転送する。
(例) tkyodai@media.kyoto-u.ac.jp 宛でのメールを kyoudai.taro.9z@kyoto-u.ac.jp に転送する。
- ・部局メールアドレスに届いたメールを全学メールアドレス以外に転送する。転送先は学外でもかまいません。
(例) tkyodai@media.kyoto-u.ac.jp 宛でのメールを kyodaitaro@gmail.com に転送する。
- ・部局メールアドレスに届いたメールを複数のメールアドレスに転送する。メーリングリスト機能です。

転送設定はWebインタフェースで簡便に行うことができ、また、大量の転送設定はCSV形式のデータから一括で行うこともできます。

【利用対象と制限事項等】

- ・利用対象：既存の「部局等のメールアドレス」です。具体的には、kyoto-u.ac.jp 配下のサブドメインに限ります。
例：[@media.kyoto-u.ac.jp]
- ・申請者：部局情報セキュリティ技術責任者からの申請に限ります。
- ・利用責任者：当該部局の教職員に限ります。
- ・利用期間：申請が承認された時点から年度末までです。次年度も継続利用を希望する場合は年度末に再申請が必要です。
再申請が無い場合、サービス提供を停止します。

eラーニング研修支援サービス

研修をeラーニング化する	対象者	教職員
	問い合わせ先	情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/mail_hosting/mhs_service_open		

本学の教職員、学生等を対象に実施される次の(1) から (3) の研修をeラーニング型研修として実施するための支援サービスで、学習管理システム(Sakai)を使っています。

- (1)全学機構が全学の教職員又は学生等に対して実施する研修
- (2)事務本部に置かれている部、課その他これに相当する組織が全学の教職員又は学生等に対して実施する研修
- (3)部局が当該部局の全教職員又は学生等に対して実施する研修

本サービスでは、教材を作成するためのコンサルティング、システムへの教材登録、受講対象者管理、受講状況管理などの支援を提供します。

各部局等でeラーニング型研修の実施希望がある場合は情報環境支援センターまでご連絡ください。

eラーニング研修支援一覧(平成 26 年 4 月現在)

- ・安全保障輸出管理研修
- ・研究費適正使用研修会
- ・廃液廃棄物情報管理研修
- ・情報環境機構講習会

コンテンツ作成支援サービス

コンテンツ作成の支援を受ける	対象者	教職員
	問い合わせ先	コンテンツ作成室 cpt@media.kyoto-u.ac.jp
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/content/services/		

コンテンツ作成支援サービスでは、ビジュアルデザインや映像を専門とするスタッフが、大学など学術教育機関で必要とされる教育・研究・社会連携などを目的とした各種コンテンツ、プレゼンテーションツールなどを企画・制作・提供する支援を行っています。良質なコンテンツを開発するため、依頼者とのコミュニケーションを綿密に図りながら、支援にあたります。

支援にあたっては、期間、内容によって支援可能であるか判断のうえ、サービスを受け付けますので支援を希望される方はまずお問い合わせください。

支援にはかかる工数分の利用負担金が必要になります。また、コンテンツ作成には一定の期間を要し、負担金以外の費用などが発生するケースもあるため、時間の余裕をもって、できるだけ計画構想段階でご相談ください。

支援可能な分野

- ・印刷物などグラフィックデザイン
- ・イベント会場、展示などの空間デザイン
- ・Web コンテンツデザイン
- ・映像コンテンツの作成
- ・3DCG による画像作成 など



Web コンテンツデザイン例



社会連携イベント空間デザイン例



映像コンテンツ作成例

京都大学オープンコースウェア (OCW)

インターネットを通じて講義等を発信する http://www.ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/	対象者	教職員
	問い合わせ先	edX/OCW 室 request-ocw@media.kyoto-u.ac.jp

OCWは、京都大学の講義のビデオや講義ノート、京大で行われた研究発表会や講演会などを、インターネットを通じて学内・学外の様々な人たちに向けて配信しています。

学内の学生、教職員、他大学の学生、関連学会の研究者、京都大学を志願する高校生、さらなる学習を志す社会人など、あらゆる方々に京都大学の講義内容を知ってもらい、門戸を広げることを目的としています。また、国内のみならず世界へ向けて、京都大学のビジビリティを高め、人類の知的資産への貢献と共有を目指しています。

ご自身の講義や研究発表会、講演会などのOCWでの発信をご希望の場合は、edX/OCW 室までご連絡ください。

京都大学OCWには次のURLからアクセスできます。

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/> (映像などの資料は全て無料です!)

京大OCWを利用するメリット

- ・授業を受ける前に内容が見られるので、ミスマッチがなくなる
- ・繰り返し視聴できるので、テスト対策として利用できる
- ・時間割が重なっている授業も視聴できる
- ・自分に合う先生や、自分にぴったりの研究分野をいち早く発見できる

OCWではこういった講義が配信されているのか？

世界を変える京大の知の最先端の研究を、深く広く理解できる



ノーベル賞医学・生理学
賞受賞
山中伸弥教授
高校生特別授業「京都賞
高校フォーラム」
-人間万事塞翁が馬-

教授はなぜ研究者になったのか？どんな研究をしてきたのか？を知る最終講義



経済学部
田中秀夫教授
「社会思想史研究40
年-スコットランド啓蒙
と共和主義-」

日本や世界を代表する方々からの京大生へのメッセージ



アウン・サン・スー・チー氏
「Socio-Political Change in
Recent Burma and Women's
Participation in It」



経営管理大学院
エンタテインメントビジネスマネジメント論
講師 渡辺 謙 氏

知識を得られるだけでなく、英語の学習にも役立つー石二鳥の英語講義



河合江理子教授
「Business English
IV: Introduction
to Finance」

情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策を実施する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/	対象者	学生 教職員
	問い合わせ先	情報セキュリティ対策室 i-s-office@iimc.kyoto-u.ac.jp

情報セキュリティ対策室では、全学の情報セキュリティ対策の企画立案、全学の情報セキュリティに関する連絡窓口、情報セキュリティ関係の全学的な委員会に関する事務、情報セキュリティ監視に関する業務、その他情報セキュリティ対策に関する啓発活動や情報発信を行っています。

情報セキュリティに関してわからないこと、知りたいことは、セキュリティ対策室まで気軽に問い合わせください。

以下、情報システムの利用に際し、情報セキュリティ上最低限守っていただきたいことを列挙しますので、遵守をお願いします。

情報セキュリティを守るために必ず行うこと

- ・情報セキュリティ e-Learning(下記)を受講すること。
- ・アカウント(ID)、パスワード管理の徹底。人に漏らさない、十分に強いパスワードの設定、定期的な変更など。
- ・コンピュータのOSやアプリケーションのセキュリティアップデートを行い、常に最新に保つこと。
- ・ウイルス対策ソフトを提供者との契約に基づいて利用し、パターンファイル等常に最新化すること。
- ・本学および所属学部研究科等により定められた規定および利用する情報システムごとに定められた規定を遵守すること。

禁止事項

情報の発信について

差別、名誉毀損、侮辱、ハラスメントにあたる情報、プライバシーを侵害する情報、守秘義務に違反する情報、著作権等の知的財産権を侵害する情報、その他法令に基づく処罰の対象となる情報、損害賠償等の民事責任を発生させる情報の発信。

P2P ファイル交換ソフト*の利用について

- ・KUINS-III 接続環境では、利用禁止。
 - ・KUINS-II 接続環境では、部局情報セキュリティ責任者(部局長)を経由して情報環境機構長に事前に届け出て許可を得ること。
 - ・自分が著作権を保有しない著作物の配信に利用しないこと(著作権法違反に該当します)。
 - ・違法配信されている情報はダウンロードしないこと(違法行為となります)。
- * P2P ファイル交換ソフト: Bit Torrent、Lime Wire、Winny、Xunlei などインターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェアのこと。

情報セキュリティ e-Learning

情報セキュリティ e-Learning は、本学の構成員の皆様に情報セキュリティに関する基本的な知識を身につけていただけるよう、ネットワークに接続されたPCで学習できるようになっています。具体的には、次のURLにアクセスし、画面の指示に従って受講してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/index.html>

上記に記載したことは、京都大学における情報セキュリティポリシーのごく一部です。

本学では、情報セキュリティポリシーを基本方針、規程、対策基準として定めています。

また、情報セキュリティポリシーを受け、全構成員が守るべき規範として「京都大学情報資産利用のためのルール」が定められています。これらの規定類やルールをさらに詳しく知りたい人は、次のURLを参照してください。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/regulation/index.html>

ソフトウェアライセンス管理

ソフトウェアライセンスを管理する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ismc/	対象者	教職員
	問い合わせ先	ソフトウェアライセンス管理担当 ismc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構では、平成18年度より全学的なソフトウェア環境整備に取り組んでいます。

情報環境を構成する要素としては、ネットワーク環境、計算機環境がありますが、それらが効率的、効果的に機能するにはソフトウェア環境の整備、充実が不可欠となっています。

従来は各研究室、事務室が必要に応じて独自にソフトウェアを購入・利用してきましたが、一般的なソフトウェアについては、大学としてキャンパスライセンスを取得することによって、常に最新のソフトウェアが自由に利用できるようになり、かつ大学全体としてのソフトウェア購入経費が削減できるようになります。

また、専門的な教育研究に使われる専用ソフトウェアについても、利用する研究室がまとめてグループライセンスを取得することによって、同様の効果を得ることができるようになります。

ソフトウェアライセンス管理担当では、こうしたソフトウェアライセンス取得のための学内調整、事業者との交渉、契約を行うとともに、取得されたライセンスの統一的な管理を行うことを主な業務としており、今後もより広くソフトウェアライセンス契約の充実を図り高度で安心なソフトウェア環境の構築を目指しています。皆様からのご意見、ご要望をお聞かせください。

一般的なソフトウェア

- ・電子文房具ソフトウェア(文書や表、プレゼンテーション資料作成用)
- ・マルチメディアデザインソフトウェア(図や写真、ビデオ、音楽編集用)
- ・コミュニケーションソフトウェア(メールや遠隔会議用)
- ・教育用ソフトウェア(マルチメディア語学教育やe-learning用)

専門的なソフトウェア

- ・数式、信号処理用ソフトウェア
- ・大規模高速計算用ソフトウェア
- ・統計処理ソフトウェア
- ・化学分析ソフトウェア
- ・地理情報分析ソフトウェア

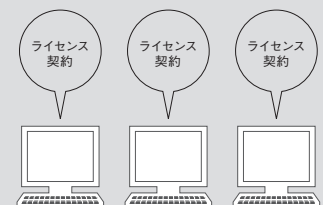
ソフトウェアのライセンス形態

コンピュータのソフトウェアは著作物として著作権法によって著作権者の権利が保護されています。その利用に際してはソフトウェアの提供者との契約を行い利用許諾(ライセンシング)を受けなければなりません。

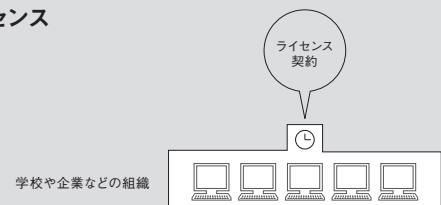
ソフトウェアのライセンスには様々な形態があります。個々のコンピュータごとの利用契約のほか、組織全体での利用契約(サイトライセンス)や、複数台のコンピュータにインストールしたうえで、同時に稼働するソフトウェア数をサーバ等で管理するフローティングライセンス等があります。

ソフトウェアの利用にあたっては利用契約に基づいた適正な利用が求められます。

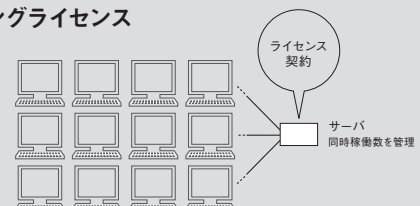
個々のコンピュータ毎のライセンス



サイトライセンス



フローティングライセンス



本学で行っているソフトウェアライセンシング（詳細・最新情報の照会には各問い合わせ先へお願いいたします）

ソフトウェア		利用形態	問い合わせ
JUSTSYSTEM JL-Education Master 大学版 [*]	株式会社ジャストシステム	京都大学生協同組合 で購入	京都大学生協同組合 PC センタールネ TEL 075-753-7636
Adobe CLP ライセンス	アドビシステムズ株式会社		
Microsoft 全学追加ライセンス	マイクロソフト株式会社		
シマンテック EndpointProtection 京大全学ライセンス	株式会社シマンテック		
モリサワフォント学生向けライセンス	株式会社モリサワ		
Multisim キャンパスライセンス	ナショナルインスツルメンツ株式会社		ソフトウェアライセンス管理担当 TEL 075-753-2195、2196
LabVIEW キャンパスサイトライセンス			

* 日本語ワードプロセッサ 三太郎、「日本語入力システム ATOK」、総合グラフィックソフト 花子、日本語表計算ソフト 三四郎、PDF作成・編集ソフトJustsystem PDF Suite

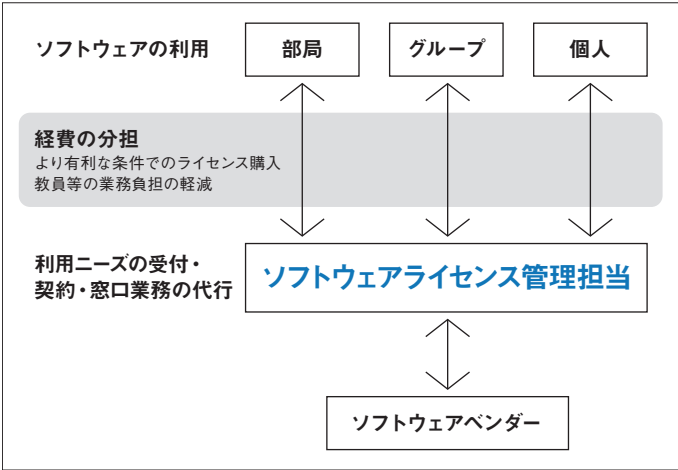
2014年4月1日現在

ライセンス契約のサポート

幅広い研究分野での利用可能なソフトウェアに関して、キャンパス(サイト) ライセンス等の共同購入の契約・窓口業務、ライセンスサーバの運用等の支援を行っています。

支援内容

- 研究者グループでの利用
 - ・ MATLAB(サイバネットシステム株式会社)
 - ・ Maple(メイプルプロジェクト)
 - ・ Chem Bio Draw Ultra(CambridgeSoft Corporation)
 - ・ Arc GIS(ESRI ジャパン株式会社)
- 情報環境機構教育用コンピュータシステムでの利用
 - ・ SPSS(IBM 社)
- 個人での利用
 - ・ EViews(QUANTITATIVE MICRO SOFTWARE)

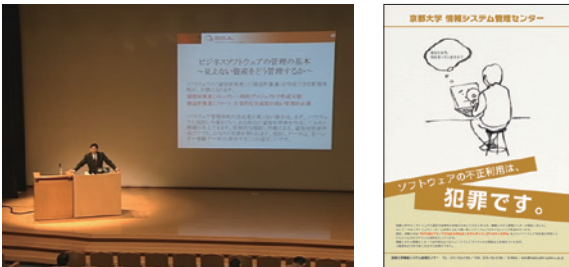


教育啓発活動

教職員、学生に対して、著作権関係セミナーの開催やソフトウェア適正利用に関するポスターの作成・配布など、ソフトウェアの著作権制度およびライセンス制度そのものに対する教育啓発活動などを行っています。教職員・学生に対する啓発活動を行われる場合のポスター・パンフレットの請求は、ソフトウェアライセンス管理担当までご連絡ください。

活動内容

- ・ ソフトウェアの適正管理に関するセミナー
- ・ 教育著作権セミナー
- ・ ポスターの掲示
- ・ パンフレットの配布



情報環境機構 施設案内

学術情報メディアセンター北館

オープンスペースラボラトリ (OSL)

授業で利用されるソフトウェアやセキュアな運用に配慮した、自由に利用できる自習用PC端末として運用しています。また、非課金プリンタが1台設置されています。利用者からの問い合わせは内線電話を通して、南館OSLに常駐しているティーチングアシスタント(TA)が対応しています。

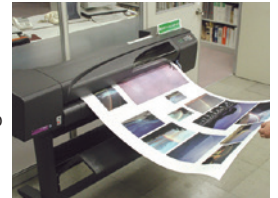
利用時間 平日10:00~17:00
対象 本学の教職員・学生
利用申込 不要
問い合わせ先 情報環境支援センター
TEL 075-753-7840
support@iimc.kyoto-u.ac.jp



大判プリンタ出力室

スーパーコンピュータシステム利用者のための出力サービスとして、大判プリンタ(A0サイズまで)が設置されています。

利用時間 平日9:00~17:00
対象 スーパーコンピュータ利用者
利用申込 不要
問い合わせ先 共同利用掛
TEL 075-753-7424
zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp



学術情報メディアセンター南館

オープンスペースラボラトリ (OSL)

約100台のPCを設置しています。これらの設備は、自由に利用できる自習用PCとして運用されています。また、平日はTAを配置して利用者の問合せなどに対応しています。

利用時間 平日10:00~20:00
土曜10:00~18:00
対象 本学の教職員・学生
利用申込 不要
問い合わせ先 情報環境支援センター
TEL 075-753-7840
support@iimc.kyoto-u.ac.jp



語学実習CALL教室

最先端の次世代型CALL(Computer-Assisted Language Learning: コンピュータ支援型言語学習)システムを備えた教室に、約130台の端末及びAV機器、100インチの背面投射型スクリーンが設置されており、各種の外国語教育に利用されています。

利用時間 平日8:45~18:00
対象 本学の教職員・学生(授業専用)
利用申込 必要
問い合わせ先 京都大学教育推進部共通教育推進課
TEL 075-753-9343



マルチメディア講義室

情報コンtentを備えた120名分の座席と、100インチの背面投射型スクリーン3面、電子黒板、講義撮影用カメラ、マイクなどを備えています。マルチメディア教材を利用した講義や、各種システムを用いた遠隔講義、講師映像・スライド・電子黒板を同期させた講義アーカイブの自動作成などに利用できます。

利用時間 平日8:45~18:00
(時間外は応相談)
対象 本学の教職員
利用申込 必要
問い合わせ先 情報環境支援センター
TEL 075-753-7840
support@iimc.kyoto-u.ac.jp



マルチメディア演習室

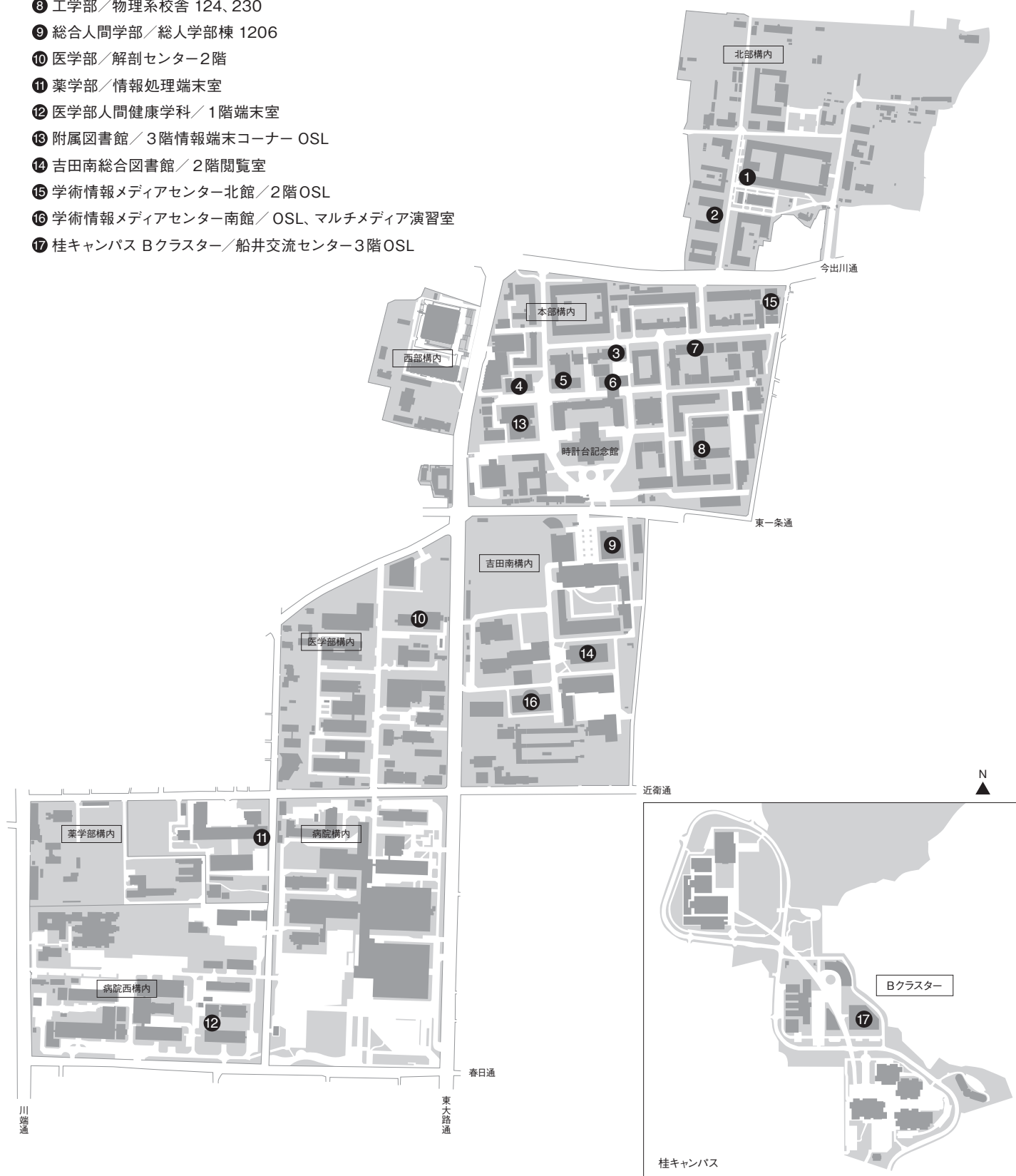
71台のPCと100インチの背面投射型プロジェクタおよび前面投影型プロジェクタ、資料の提示装置、音響設備を備えています。隣接する演習室と映像および音声を結んで演習を行うことも可能です。

利用時間 平日8:45~18:00
(時間外は応相談)
対象 本学の教職員
利用申込 必要
問い合わせ先 情報環境支援センター
TEL 075-753-7840
support@iimc.kyoto-u.ac.jp



教育用コンピュータシステム サテライト演習室・OSL 配置図

- ① 農学部／総合館 W222、W228
- ② 理学部／6号館 208、210
- ③ 文学部／L312
- ④ 教育学部／2階226号室、4階420号室
- ⑤ 法学部／法経北館2階
- ⑥ 経済学部／総合研究棟地下1階 情報演習室1、情報演習室2
- ⑦ 工学部／3号館演習室1、2
- ⑧ 工学部／物理系校舎 124、230
- ⑨ 総合人間学部／総人学部棟 1206
- ⑩ 医学部／解剖センター2階
- ⑪ 薬学部／情報処理端末室
- ⑫ 医学部人間健康学科／1階端末室
- ⑬ 附属図書館／3階情報端末コーナー OSL
- ⑭ 吉田南総合図書館／2階閲覧室
- ⑮ 学術情報メディアセンター北館／2階OSL
- ⑯ 学術情報メディアセンター南館／OSL、マルチメディア演習室
- ⑰ 桂キャンパス Bクラスター／船井交流センター3階OSL



総合問い合わせ窓口：情報環境支援センター

情報環境機構では、「本学の情報基盤の充実およびこれに基づく情報環境の整備等を推進する」ための全学組織として、学術情報ネットワーク(KUINS)、統合認証基盤、全学メール(KUMOI、KUMail)など、様々なITサービスを提供しています。

これらのサービスを有効に活用していただくため、このたび、情報環境支援センターを設置し、これまで、それぞれのサービスごとに対応していた問い合わせ窓口を一本化しました。

つきましては、機構で提供している各種ITサービスに関する問い合わせ、機構に対するご要望等がありましたら、情報環境支援センターまでお気軽にご連絡ください。

情報環境支援センター

連絡先：606-8501 京都市左京区吉田二本松町 学術情報メディアセンター南館1階

TEL. 075-753-7840 FAX. 075-753-9001

E-mail : support@iimc.kyoto-u.ac.jp



京都大学情報環境機構
Institute for
Information Management and Communication,
Kyoto University

総合研究5号館

学術情報メディアセンター 北館

本部棟

学術情報メディアセンター 南館



平成26年度 京都大学情報環境機構サービスガイドブック

2014年4月1日発行

京都大学情報環境機構 情報環境支援センター

〒606-8501京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター南館1階

TEL.075-753-7840、7842 FAX.075-753-9001

E-mail support@iimc.kyoto-u.ac.jp

URL http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/